

## 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	サイクルツーリズム受入環境整備事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人白馬村観光局 0261-72-7100
事業区分	(6)ア 特色ある観光地づくり (1)地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,638,845 円 (うち支援金: 2,737,000 円)

### 事業内容

自転車による観光振興によって世界水準の滞在型観光地に近づく為の施策として、リゾートに似合うオシャレな電動アシスト付自転車のレンタルを村内6か所で実施し、相互乗捨てサービスを導入することで、一般観光客の移動手段となり、点在する観光スポットや飲食店、既存アクティビティ施設を周遊することができる体制を整備した。

白馬で自転車をやる楽しさを伝える宣材写真撮影や動画を作成した。

また、地域の自転車文化を醸成するために、電動アシスト自転車のポタリング体験会と自転車の整備に関する講習会を実施した。



【電動自転車ポタリング体験】

### 【目標・ねらい】

- ①グリーン期(特に春秋)の滞在拡大による観光客数の平準化
- ②二次交通に変わる移動手段としての「自転車移動」のサービス向上
- ③地域住民を巻き込んだ経済活性化
- ④白馬村の資産である自然、歴史、文化の可視化向上
- ⑤自然志向・健康志向を含む地域住民への自転車文化醸成

### 事業効果

本事業の取組みにより、サイクリストにやさしいホスピタリティー溢れる地域となり、グリーン期の観光客の来場意向が向上するものと考えられる。

電動アシスト付自転車レンタル乗捨てサービスの構築できたことで、自転車移動が可能になった。また自転車事業に参画していなかった団体を巻き込むことができ、今後の施策が実施しやすい基盤ができた。

メディア招聘により、「紅葉の中を MTB で楽しむ」「ファミリーで楽しめる」「白馬での自転車が面白い」などの内容を雑誌媒体3誌で発信できた。

ポタリング体験会で、村内向けにも、観光商品としても今後につながる良いプログラムが造成できた。整備講習でも自転車文化醸成に一定の効果があった。

宣材写真撮影や動画を活用して、メディア、メーカー、旅行会社、他にもイベント等で営業活動ができた。

※自己評価【 B 】

### 【理由】

予定していたメーカー招聘が実現できなかったマイナス面と、想定していなかった新たな良いツアープログラムが開発できたプラス面が合ったため。

### 今後の取り組み

電動アシスト付自転車の魅力とレンタルを始めたことの周知不足だった為、今回開発したポタリングのプログラムを村内宿泊施設や観光関連施設にも体験してもらい、電動アシスト自転車とそのレンタルのことを知ってもらうような施策を、地元の自転車文化醸成の意味も含めて今後も実施していく。また、本事業で実施した動画や写真なども使い、誘客宣伝を強化していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある